

踏切安全通行カルテ

よみがな	しちく		道路名	市道 東4-66号線							
踏切道名	紫竹		(道路管理者名)	新潟市							
			鉄道路線名	信越線							
所在地	新潟市東区紫竹6丁目		(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道							
地図 (広域及び狭域)	詳細		写真 (現況及び対策後)		現況						
	広域										
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	37.6	左道路	0.0	6.5	0.0	歩車道分離方法	コンクリートブロック			
			踏切道	0.0	5.8	1.5		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	6	右道路	0.0	6.0	2.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-		-		-		
	道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-			
		右道路	曲線	-	-	-		-			
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	○	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	-			
				43							
自動車ボトルネック踏切		○	踏切自動車交通遮断量(台・時)			事故多発踏切	-				
			61,189								
歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和						
		-			-						
歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
			起点寄(左)	終点寄(左)							
			起点寄(右)	終点寄(右)							
左道路	-	-	-	-	7,115	162					
右道路	-	-	-	-							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		地域の一部から立体交差化の要望あり					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	S54
	-	-		-	三次元レーザ レーダ式	-	-		-	対策状況 (完了年)	S60
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	単立(調整中)		除却 年度	-	踏切支障報知装置の設置		完了 年度	H21年			
今後の対策方針 対策推進上の課題	単立に向けた地元合意形成										
備考 (協議状況等)	H25 近隣企業の代表者と定期的に勉強会を開催 H26 近隣企業の代表者と定期的に勉強会を開催 H27 近隣企業の代表者と定期的に勉強会を開催										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	たかやま			道路名	市道東幹線13号線						
踏切道名	高山			(道路管理者名)	長岡市						
				鉄道路線名	上越線						
所在地	新潟県長岡市十日町宇島崎			(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道						
地図 (広域及び狭域)				写真 (現況及び対策後)			【現況】				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	12.2	左道路	2.5	5.5	0.0	歩車道分離方法	白線・黄線			
			踏切道	0.0	5.5	0.0					
	横断本数(本)	2	右道路	3.0	7.8	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-	-	-		終点寄有り	125	
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切		○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)			事故多発踏切		-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
左道路			5.5	起点寄(左)	2.5	終点寄(左)				0.0	
		右道路	7.8	起点寄(右)	3.0	終点寄(右)	0.0	773	75		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道設置の要望がある。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	-	-		-	-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	除却 年度	-	構造改良(調整中)			完了 年度	未定			
今後の対策方針 対策推進上の課題	小学校の通学路に指定されているが、踏切内のみ歩道が未設置であり、通学児童等歩行者の安全が確保されていないことから、踏切を拡幅改良し、歩道を設置することで、安心・安全な歩行空間の確保を図る。 現在進捗している殿町踏切拡幅事業の完了後、道路管理者と鉄道管理者にて協議を実施する。 ※『長岡市通学路交通安全プログラム』要対策箇所										
備考 (協議状況等)	H23に踏切改良(歩道設置)に関して拡幅指針に沿って道路管理者と鉄道管理者にて計画協議を行った。										

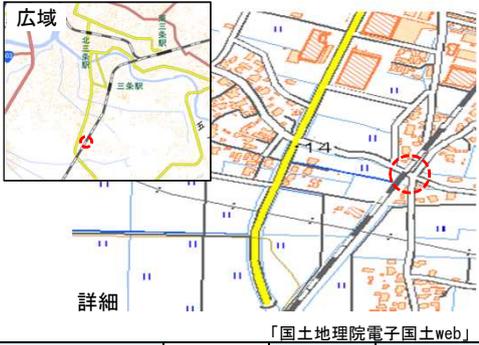
※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ながおかかいどう				道路名	市道越路435号線					
踏切道名	長岡街道				(道路管理者名)	長岡市					
					鉄道路線名	信越本線					
所在地	新潟県長岡市来迎寺				(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	交通規制	交通規制なし			
	踏切長(m)	12.4	左道路	0.0	5.0	3.0	歩車道分離方法	白線・黄線			
			踏切道	0.0	6.3	0.0		拡幅指針の該当	歩道のみ拡幅の場合		
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	5.0	3.0	歩道+車道2車までの拡幅の場合				
	交差角(度)	68	迂回路(歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-		-			両方共なし		-
道路線形	左道路	直線	直近のBF化迂回路	距離(m)		BF化状況		通学路指定状況	有り		
	右道路	直線		-		-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)				
		左道路	5.0	0.0	3.0	1,989	620				
		右道路	5.0	0.0	3.0						
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-				地元住民及びPTAから歩道設置要望有り。長岡市通学路合同安全点検においても、危険箇所として抽出されている。			
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備設置状況	賢い踏切		踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備				法指定の状況	計画種別	構造改良	
	設置の必要性	有無		設置年度	障害物検知装置	オーバ-ハング型警報装置	大型遮断装置		二段型遮断装置	指定年	S54
					-	-	-		-	対策状況(完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)						
			除却年度				完了年度				
今後の対策方針 対策推進上の課題	・交通実態の確認や地元要望内容等を精査し、対策の検討を行う。										
備考 (協議状況等)	・H27 : 対策内容等、JR東日本との協議は未実施。										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	にしな				道路名		市道支所土場線					
踏切道名	西中				(道路管理者名)		三条市					
					鉄道路線名		信越本線					
所在地	新潟県三条市五明字アラヤ				(鉄道事業者名)		東日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)	 <p style="text-align: center;">「国土地理院電子国土web」</p>				写真 (現況及び対策後)		(対策前)					
												
諸元・構造等	踏切種別	第1種		幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
								(車両進入防護柵等)		設置していない		
	踏切長(m)	10.8		左道路	0.0	5.5	2.3	歩車道分離方法		なし		
				踏切道	0.0	4.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		○	
	横断本数(本)	2		右道路	0.0	4.9	2.5		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		○	
	交差角(度)	90		迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類		距離(m)	
			-		-		起点寄有り		350			
道路線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		有り			
	右道路	直線		-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-		ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		○		
				-								
	自動車 ^ホ トルネック踏切	-		踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-		
				-								
歩行者 ^ホ トルネック踏切	-		踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
			-									
歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)				
				起点寄(左)	終点寄(左)							
		左道路	5.5	0.0	2.3	2,361		213				
		右道路	4.9	0.0	2.5							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	1	0	H22:直前横断(自動車)				地元住民より車道拡幅及び歩道設置の要望がある。 (理由：通学路に指定されているが、踏切内のみ歩道が無い。児童の通学等に危険があるため。)				
	道路交通事故	0	0	-								
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-	
	無	-	-		超音波式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	除却 年度	構造改良(事業中)		完了 年度	H31						
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切が狭隘で歩車分離もなされていないため、通学路として危険な状態となっている。前後道路は歩道+2車線が確保されており、道路管理者による歩道設置及び車道拡幅のH31の完成を目指す。											
備考 (協議状況等)	H23に鉄道事業者と計画協議を完了し、H26には踏切拡幅部の橋梁改修に係る詳細設計を鉄道事業者と協定を締結したうえで実施した。引き続き、踏切工事の実施時期について協議中。											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いなりちよう				道路名	市道稲荷町線						
踏切道名	稲荷町				(道路管理者名)	十日町市						
					鉄道路線名	飯山線						
所在地	新潟県十日町市稲荷町3丁目				(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道						
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)							
諸元・構造等	踏切種別	第1種		幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	大型車両の通行禁止(C規制) 設置していない			
	踏切長(m)	8.2		左道路	0.0	4.8	0.0	歩車道分離方法	その他			
				踏切道	0.0	4.4	0.0					
	横断本数(本)	1		右道路	0.0	4.9	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-		
									歩道+車道2車までの拡幅の場合	-		
	交差角(度)		80		迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)
										両方共なし		-
	道路 線形	左道路	直線		迂回路 (歩行者)	直近のBF化 迂回路		距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		-
		右道路	直線									-
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-		ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○	
自動車ボトルネック踏切		-		踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
歩行者ボトルネック踏切		-		踏切歩行者等交通遮断量(人・時)					踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
歩道狭隘踏切		-		前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
				左道路	4.8	起点寄(左)	0.0				終点寄(左)	0.0
				右道路	4.9	起点寄(右)	0.0	終点寄(右)	0.0	2,355	572	
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-				地元(西部地区振興会)から踏切の拡幅要望あり			
	道路交通事故		0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-	
	無	-	-		-	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^(※)							
	-			除却 年度	-				完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	・踏切拡幅に向けて計画検討中。											
備考 (協議状況等)	【H26.1.24】 (市)稲荷町踏切東側の道路幅員5.5mに合わせて、踏切道(現況幅員4.4m)の拡幅を行い、踏切道内で車がすれ違えるようにしたい。 (JR)現況では踏切東側の幅員が狭く、踏切を拡幅した場合に踏切内に車が滞留する恐れがある。東側の道路整備と同時に踏切の拡幅を行うことで進めたい。											
	【H27.10】 通学路点検を行い、要対策箇所位置づけられた。											

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いわはな				道路名		市道平林福田線				
踏切道名	岩鼻				(道路管理者名)		村上市				
					鉄道路線名		羽越本線				
所在地	新潟県村上市平林525-1				(鉄道事業者名)		東日本旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	大型車の通行禁止			
	踏切長(m)	13.0	左道路	0.0	5.0	0.0	歩車道分離方法	その他			
			踏切道	0.0	3.5	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	4.0	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		○		
	交差角(度)	50	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-	-	両方共なし		-		
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	5.0	0.0	0.0	513	207				
		右道路	4.0	0.0	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			青少年育成市民会議及び平林小学校PTAから通学路の危険箇所の改善要望として、毎年踏切拡幅と歩道新設の要望が有る。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	踏切遮断機・踏切警報機	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	S40
	-	-	-		○	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	取付道路(市道平林福田線)の道路改良予定は無し。市道の改良計画が確定した時点でJRと再度協議したい。										
備考 (協議状況等)	<p>H12.8.8付けで『道路改修計画と踏切改修計画について』JR東日本と文書協議済み。</p> <p>H12.10.2付け回答文にて『工事計画が確定した時点で協議する。』及び『社会情勢、交通事情の変化等により、道路整備事情に変更がある場合は、事前の協議をする。』との回答有り。</p> <p>H14.11.18 岩鼻踏切拡幅JR下協議</p> <p>H15.1 岩鼻踏切拡幅測量・調奪業務委託</p> <p>H24.11.2通学路緊急合同点検実施。小中学校の通学路であり、踏切内の歩道が無いため踏切内歩道幅員の確保を協議。</p> <p>新潟県鉄道整備促進協議会利便性向上に対する要望の中で毎年JR東日本へ踏切改修要望をしている。(平成23年度から)</p>										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だいにむらかみかいどう				道路名	市道今宿7号線			
踏切道名	第二村上街道				(道路管理者名)	村上市			
					鉄道路線名	羽越本線			
所在地	新潟県村上市九日市字砂子田81-16				(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道			
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし	
	踏切長(m)	14.7	左道路	0.5	4.0	0.5	歩車道分離方法	その他	
			踏切道	0.0	5.3	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合
	横断本数(本)	3	右道路	0.5	4.0	0.5	迂回路(自動車)	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			種類	距離(m)
	道路 線形	左道路		直線	-	-	-	両方共なし	-
右道路		直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り		
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○	
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)		
		左道路	4.0	起点寄(左)	0.5		4,719	77	
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等		
	踏切事故	0	0	-			青少年育成市民会議及び西神納小学校PTAから通学路の危険箇所改善要望として、毎年歩道新設の要望有り。		
	道路交通事故	0	0	-					
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	踏切遮断機・踏切警報機
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置		二段型 遮断装置	指定年
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}				
			除却 年度					完了 年度	
今後の対策方針 対策推進上の課題	取付道路(市道今宿7号線)の改良予定は無し、市道の改良計画が確定した時点で再度協議したい。								
備考 (協議状況等)	<p>H12.8.8付け『道路改修計画と踏切改修計画について』JR東日本と文書協議済み。</p> <p>H12.10.2付け回答文にて『道路の工事計画が確定した時点で協議する。』及び『社会情勢、交通事情の変化等により、道路整備事業に変更がある場合は、事前協議をする。』との回答有り。</p> <p>H24.10.31通学路緊急合同点検実施済み。JR東日本も立会い。「市道改良計画内の踏切改良であれば協力する。」との回答。</p>								

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いどまき				道路名	市道井土巻16号線					
踏切道名	井土巻				(道路管理者名)	燕市					
					鉄道路線名	弥彦線					
所在地	新潟県燕市井土巻				(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前) 					
						(現況) ネットワーク対策実施(H21) 					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし			
	踏切長(m)	6.1	左道路	2.2	7.0	0.0	歩車道分離方法	その他			
			踏切道	0.0	7.0	0.0					
	横断本数(本)	1	右道路	1.3	7.1	1.4	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			起点寄有り	370		
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り				
	右道路	直線		-	-		-				
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
左道路			7.0	起点寄(左)	2.2		終点寄(左)	0.0	2,952	72	
右道路	7.1	起点寄(右)	1.3	終点寄(右)	1.4						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道整備の要望がある。 (理由：通学路に指定されているが、歩道が狭小)				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		三次元レーザ レーダ式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	踏切道の交通量軽減を図るネットワーク対策 (対策実施)	完了 年度	H21					
今後の対策方針 対策推進上の課題	【歩道狭隘踏切】 踏切内に自転車や歩行者が安全に通行する場所がなく自動車との接触事故が予想され、非常に危険な状態である。 速攻対策として、踏切道の交通量軽減を図るネットワーク対策をH21年度までに燕市が工事を実施し供用開始。										
備考 (協議状況等)	H11年度より燕市とJR東日本が協議を開始。 H12年度に計画協議書及び実施協議書をJR東日本に提出し了承の回答を得る。 H12年度から詳細設計を行いH21年度までに工事が完了し供用開始。										

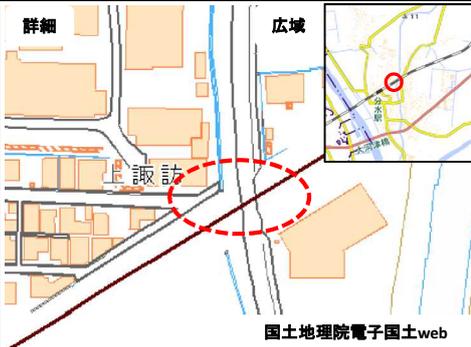
※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	このす				道路名	市道藤見線					
踏切道名	鴻ノ巣				(道路管理者名)	燕市					
所在地	新潟県燕市吉田字砂入4854-5				鉄道路線名	越後線					
					(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)	 <p style="text-align: center;">国土地理院電子国土web</p>				写真 (現況及び対策後)		(現況) カラー舗装実施(H22) 				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	8.5	左道路	2.0	7.6	0.0	歩車道分離方法	カラー舗装			
			踏切道	0.0	10.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	2.7	7.6	0.0	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-		
	交差角(度)	60	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-	-	両方共なし		-		
道路線形	左道路	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)				
		左道路	7.6	起点寄(左)	2.0	終点寄(左)	0.0				
		右道路	7.6	起点寄(右)	2.7	終点寄(右)	0.0				
						9,874	533				
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			・平成22年度まで地域住民より歩道整備の要望あり。 ・カラー舗装、路面標示の対策実施後(H23年度以降)は、要望なし。				
	道路交通事故	1	0	H25:車両相互(自動車×自動車)							
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		-	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H22		
今後の対策方針 対策推進上の課題	【歩道狭隘踏切】 踏切内に自転車や歩行者が安全に通行する場所がなく自動車との接触事故が予想され、非常に危険な状態である。 速攻対策として、カラー舗装、路面標示をH22年度に燕市が実施。										
備考 (協議状況等)	H18年度より歩道狭隘踏切として、燕市とJR東日本が協議を開始した。 歩道拡幅にあたっては、踏切内に水路がある複雑な構造となっており、施工方法及び財政的に困難な面もあるため協議中断。 H22年度にカラー舗装、路面標示を実施した。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	しょうがっこう				道路名	市道新堀新町線					
踏切道名	小学校				(道路管理者名)	燕市					
					鉄道路線名	越後線					
所在地	新潟県燕市上諏訪				(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)	 <p style="text-align: center;">国土地理院電子国土web</p>				写真 (現況及び対策後) 						
									(現況)		
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	交通規制	交通規制なし			
	踏切長(m)	8.5	左道路	0.0	6.7	2.5	歩車道分離方法	その他			
			踏切道	0.0	6.0	0.0		拡幅指針の該当	歩道のみ拡幅の場合		
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	7.4	2.6	歩道+車道2車までの拡幅の場合				
	交差角(度)	75	迂回路(歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-		-			両方共なし		-
	道路線形	左道路	直線	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	有り			
右道路		直線	-		-	-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)			
			左道路	6.7	0.0	2.5				144	44
右道路	7.4	0.0	2.6								
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-				地域住民より歩道整備の要望がある。 (理由：通学路に指定されているが、歩道が無い)			
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	-	-		-	-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)						
	-			除却 年度	-			完了 年度			
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切内に自転車や歩行者が安全に通行する場所がなく自動車との接触事故が予想され、非常に危険な状態である。										
備考 (協議状況等)	H27：JR東日本株との協議は未実施(今後、対策に向けた検討を行う)										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	のうぎようせんたー				道路名	市道廿六木中央通線				
踏切道名	農業センター				(道路管理者名)	燕市				
所在地	新潟県燕市白山町三丁目				鉄道路線名	弥彦線				
					(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(現況) カラー舗装実施(H22) 			
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし		
	踏切長(m)	6.4	左道路	2.0	8.0	2.0	歩車道分離方法	カラー舗装		
	横断本数(本)	1	踏切道	0.0	6.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
			右道路	2.0	8.0	2.0		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-			両方共なし	-	
道路線形	左道路 直線	直近のBF化迂回路		距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	なし			
	右道路 直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-		
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
		左道路	8.0	起点寄(左)	2.0	9,471		60		
		右道路	8.0	終点寄(左)	2.0					
				起点寄(右)	2.0					
				終点寄(右)	2.0					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道整備の要望がある。 (理由：通学路に指定されているが、歩道が狭小)			
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-	○	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H22		
今後の対策方針 対策推進上の課題	【歩道狭隘踏切】 踏切内の歩道が狭小で自転車や歩行者が安全に通行する場所がなく自動車との接触事故が予想され、非常に危険な状態である。 踏切内に歩道拡幅を燕市で検討し、H27年度よりJR東日本㈱と歩道拡幅の協議を開始し、H29年度に工事を実施し、共用を目標とする。									
備考 (協議状況等)	H22年度にカラー舗装、路面標示を実施した。 H27年度より歩道狭隘踏切として、燕市とJR東日本㈱が協議を開始し、H29年度に工事を実施予定。									

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	かなづかいどう		道路名	(主) 白根安田線							
踏切道名	金津街道		(道路管理者名)	新潟県							
所在地	新潟県五泉市泉町1丁目		鉄道路線名	磐越西線							
			(鉄道事業者名)	東日本旅客鉄道							
地図 (広域及び狭域)	 国土地理院電子国土web		写真 (現況及び対策後)	 【現況】 【現況】							
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	7.5	左道路	0.0	6.8	0.0	歩車道分離方法	その他			
			踏切道	0.0	6.4	0.0					
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	8.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合 歩道+車道2車までの 拡幅の場合	○ -		
	交差角(度)	70	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-					両方共なし	-
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○				
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	○				
	自動車 ^ホ トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)						事故多発踏切	-	
	歩行者 ^ホ トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		起点寄(左)	終点寄(左)								
		左道路	6.8	0.0	0.0	6,137	318				
		右道路	8.0	0.0	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			五泉小学校の通学路指定あり。踏切内の歩行空間や前後の道路幅員が狭く児童と車が輻輳し危険なので、地元PTA等から踏切拡幅ならびに歩道設置要望あり。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-		-	三次元レーザ レーダ式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	除却 年度	-	踏切内路面表示			完了 年度	H28			
今後の対策方針 対策推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路であり、計画された道路幅員(W=12mの跨線橋)とするには沿道の家屋移転が伴うため、事業化は見合わせてきた。 ・現況幅員では、道路としての役割や機能を充足しているとはいえない。 ・H24通学路緊急合同点検に係る速効対策としての『踏切拡幅』ならびに『歩道設置』を検討(応急対策でH28年度に踏切内路面標示を実施)。 ・都市計画道路の見直しを念頭に、早期に具現化したい。 										
備考 (協議状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に鉄道管理者と道路事業者にて、『踏切拡幅』と『歩道設置』の事業化へ向けた事前打ち合わせを実施。 										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	かが		道路名	市道北本町春日山町線							
踏切道名	加賀		(道路管理者名)	上越市							
所在地	新潟県上越市藤新田		鉄道路線名	妙高はねうまライン							
			(鉄道事業者名)	えちごトキめき鉄道株式会社							
地図 (広域及び狭域)	 <p style="text-align: center;">国土地理院電子国土web</p>		写真 (現況及び対策後)	 <p>(対策前)</p> <p>(現況)カラー舗装実施(H22)</p>							
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし			
							(車両進入防護柵等)				
	踏切長(m)	6.5	左道路	0.0	5.6	2.0	歩車道分離方法	カラー舗装			
			踏切道	0.0	6.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合			
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	5.8	3.2		歩道+車道2車までの拡幅の場合			
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
		-		-		両方共なし		-			
道路線形	左道路 曲線	直近のBF化迂回路		距離(m)	BF化状況		通学路指定状況	有り			
	右道路 直線	-	-	-							
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
			-								
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
			-								
歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
		-				-					
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
			起点寄(左)	終点寄(左)							
			起点寄(右)	終点寄(右)							
			左道路	5.6	0.0	2,601	119				
			右道路	5.8	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			H18～H22年度まで、地元小学校から歩道設置要望あり。 カラー舗装、路面標示の対策実施後(H23年度以降)は、要望なし。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
		-			ループ コイル式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	除却 年度		カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H22			
今後の対策方針 対策推進上の課題	小学校通学路であるが、歩道がないことから平成22年度にカラー舗装、路面標示を実施した。										
備考 (協議状況等)	H21.7：鉄道事業者と当該路線におけるカラー舗装、路面標示の設置についての計画協議。 H22.3：鉄道事業者と当該路線におけるカラー舗装、路面標示の設置についての実施協議。 H23.3：カラー舗装、路面標示の対策工事を実施。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だい2いなしろふみきり				道路名	一般県道八尾大沢野線					
踏切道名	第2稲代踏切				(道路管理者名)	富山県					
					鉄道路線名	高山線					
所在地	富山県富山市稲代156-1				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	【対策前】					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	6.6	左道路	2.7	6.0	2.7	歩車道分離方法	カラー舗装			
			踏切道	0.0	8.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	2.5	6.0	2.6	迂回路(自動車)		歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-	
	交差角(度)	54	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			種類	距離(m)		
				-	-		両方なし		-		
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○				
	右道路	直線	-	-	-		-				
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	-				
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.0	-2.7	-2.7	2,337	55				
		右道路	6.0	-2.5	-2.6						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		-					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		三次元レーザ レーダ式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)	完了 年度	H22					
今後の対策方針 対策推進上の課題	道路管理者により、H22年度にカラー舗装を実施。引き続き、踏切内に歩道がない状態である為、道路管理者として踏切拡幅(歩道設置)の必要性を検討し、必要に応じて関係者と協議を行っていく。										
備考 (協議状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H22 カラー舗装実施 ・今後、踏切拡幅(歩道設置)の必要性を確認 										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	おきたふみきり				道路名		一般県道黒川滑川線				
踏切道名	沖田踏切				(道路管理者名)		富山県				
					鉄道路線名		あいの風とやま鉄道線 富山地方鉄道 本線				
所在地	富山県滑川市下島239				(鉄道事業者名)		あいの風とやま鉄道 富山地方鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(現況) 				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
	踏切長(m)	15.5	左道路	0.0	6.3	0.0	交通規制		-		
			踏切道	0.0	6.5	0.0	交通規制なし		-		
	横断本数(本)	3	右道路	0.0	6.8	0.8	交通規制なし		-		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)		種類	
	道路 線形	左道路		直線	-	-	-		両方共なし		-
右道路		直線		直近のBF化 迂回路		距離(m)		BF化状況		通学路指定状況	
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		○		
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
			左道路	6.3	0.0	0.0	3,514		91		
右道路	6.8	0.0	-0.8								
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			小学校に近く通学路指定されていることから、歩行者の通行が多く、踏切改良の要望あり				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	構造改良(調整中)			完了 年度	-	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成27年度の通学路点検において要対策箇所位置づけられたことから、道路管理者で歩道幅幅を検討。平成27年度から鉄道事業者との協議を開始。										
備考 (協議状況等)	引き続き、踏切道連絡調整会議等を通じて鉄道事業者との協議を進める。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だいいくじふみきり				道路名	市道生地中新線					
踏切道名	第1生地踏切				(道路管理者名)	黒部市					
					鉄道路線名	あいの風とやま鉄道線					
所在地	富山県黒部市中新43-8				(鉄道事業者名)	あいの風とやま鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)						
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	14.5	左道路	2.7	6.3	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.3	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	2	右道路	1.6	6.3	1.6	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-		
	交差角(度)	60	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				両方共なし	-	
道路 線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線		-	-	-		-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.3	起点寄(左)	-2.7		終点寄(左)	0.0	4,604	148	
		右道路	6.3	起点寄(右)	-1.6	終点寄(右)	-1.6				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			中学校の通学路であり、地区内の幹線道路のため歩行者が多い。地元からは拡幅(歩道設置)の要望が出ている				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		○	ループコイル 式	-		-	-	対策状況 (完了年)
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H22			
今後の対策方針 対策推進上の課題	H22年度にカラー舗装を実施したが、応急的な措置であり地元より拡幅の要望が出ている。課題として事業費のねん出が非常に厳しい。拡幅に伴い踏切前後の歩道改良(き電区分所の移設)が必要であり事業費の増大の原因となっている。										
備考 (協議状況等)	H23.2 カラー舗装実施										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だい2さぶろうまるふみきり				道路名	市道十年明千保線						
踏切道名	第2三郎丸踏切				(道路管理者名)	砺波市						
					鉄道路線名	城端線						
所在地	富山県砺波市三郎丸276				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道						
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(現況)						
												
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし				
	踏切長(m)	7.8	左道路	0.0	5.5	0.0	歩車道分離方法	なし				
			踏切道	0.0	5.5	0.0		歩道のみ拡幅の場合 歩道+車道2車までの 拡幅の場合	○			
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	5.5	0.0	迂回路(自動車)		種類	距離(m)		
	交差角(度)	58	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			迂回路指定状況	両方共なし	-		
	道路 線形	左道路		直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況		○			
		右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○				
	自動車*トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-				
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
左道路		5.5	起点寄(左)	終点寄(左)	236		34					
右道路	5.5	起点寄(右)	終点寄(右)									
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-			地域住民より舗装拡幅の要望がある。 (理由：通学路に指定されているが、歩道がなく、児童 の通学に危険があるため)					
	道路交通事故	0	0	-								
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				計画種別	-		
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		法指定 の状況	指定年	-
	無	-	-							-	-	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}							
	-	除却 年度	-	構造改良<事業中>			完了 年度	対策完了予定年度 H28				
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切内を含めた前後道路に歩道がない状態であり、踏切拡幅(歩道設置)を道路管理者により検討。平成28年度の供用開始を目標とする。											
備考 (協議状況等)	H25.4 道路管理者より鉄道事業者に対して踏切拡幅(歩道設置)の計画協議書を提出 H25.8 道路管理者と鉄道事業者により踏切拡幅(歩道設置)について同意 H25.11 道路管理者に置いて、詳細設計に着手 H27.10 道路管理者より鉄道事業者に対して踏切拡幅(歩道設置)の実施協議書を提出 H28.2 協定締結 H29.1 供用開始予定											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だい5ひがしのじりふみきり				道路名	一般県道本町高木出線					
踏切道名	第5東野尻踏切				(道路管理者名)	富山県					
					鉄道路線名	城端線					
所在地	富山県砺波市苗加234-1				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(現況)  					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	6.0	左道路	0.0	5.5	2.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.5	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	5.5	2.5	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-		
	交差角(度)	71	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				両方共なし	-	
道路線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線		-	-	-		-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	5.5	起点寄(左)	0.0		終点寄(左)	-2.0	2,619	10	
		右道路	5.5	起点寄(右)	0.0	終点寄(右)	-2.5				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			通学路要対策箇所となっていることから、砺波市から踏切改良の要望あり				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		○	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	構造改良(事業中)			完了 年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	通学路点検において要対策箇所位置づけられていることから、道路管理者で歩道拡幅を検討。平成27年度から鉄道事業者との協議を開始。										
備考 (協議状況等)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 計画協議を実施 今後も設計を進め、引き続き鉄道事業者との協議に取り組む。 										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ふくみつかいどうふみきり					道路名	主要地方道砺波小矢部線					
踏切道名	福光街道踏切					(道路管理者名)	富山県					
						鉄道路線名	あいの風とやま鉄道線					
所在地	富山県小矢部市石動町10番14号					(鉄道事業者名)	あいの風とやま鉄道					
地図 (広域及び狭域)						写真 (現況及び対策後)	(現況)					
												
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	大型車の通行禁止 設置していない				
	踏切長(m)	26.0	左道路	0.0	6.3	0.0	歩車道分離方法	なし				
			踏切道	0.0	7.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
	横断本数(本)	5	右道路	3.5	6.0	3.5	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-			
	交差角(度)	90	迂回路(歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-	-	起点寄有り		300			
	道路線形	左道路	曲線	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○				
右道路		直線	-		-	-						
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○				
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)				
			左道路	6.3	0.0	0.0		3,313	402			
右道路	6.0	-3.5	-3.5									
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-			小学校に近く通学路指定されていることから、歩行者の通行が多く、踏切改良の要望あり					
	道路交通事故	0	0	-								
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	S52	
	無	-	-		ループコイル式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※)							
	-	-	除却 年度	-	構造改良(調整中)				完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成27年度の通学路点検において要対策箇所に位置づけられたことから、歩道拡幅を検討。											
備考 (協議状況等)	引き続き、踏切道連絡調整会議等を通じて鉄道事業者との協議を進める。											

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いなみかいどうふみきり				道路名	市道角田町荒木線					
踏切道名	井波街道踏切				(道路管理者名)	南砺市					
所在地	富山県南砺市田中781				鉄道路線名	城端線					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況)	(現況) 					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	6.8	左道路	1.6	6.5	1.6	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	7.1	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	6.5	1.6	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	49	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				起点寄有り	345	
道路 線形	左道路	曲線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-			
右道路	直線	-		-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)							事故多発踏切	-
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
	左道路	6.5	起点寄(左)	終点寄(左)							
	右道路	6.5	起点寄(右)	終点寄(右)	2,147	178					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			-				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切利用者の実態を踏まえ、道路管理者において対応を検討し、必要に応じて関係者と協議を進めていく。										
備考 (協議状況等)	H27まで協議、計画なし。H28より道路管理者にて現地状況を確認し、対応を検討して必要に応じ関係者と協議を進める。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	しんかぐらがわふみきり				道路名	市道放生津町中新湊線					
踏切道名	新神楽川踏切				(道路管理者名)	射水市					
所在地					富山県射水市中新湊423-2				鉄道路線名	新湊港線	
									(鉄道事業者名)	万葉線	
地図 (広域及び狭域)	 <p style="text-align: center;">国土地理院電子国土web</p>				写真 (現況及び対策後) <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">(対策前)</div> <div style="width: 50%;">(対策後)</div> </div>						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	6.3	左道路	4.2	8.2	4.0	歩車道分離方法	白線・ブロック・カラー舗装			
			踏切道	1.5	9.7	1.5		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	4.2	8.2	4.0	迂回路(自動車)	種類		-	
	交差角(度)	50	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			-		距離(m)	-
	道路 線形	左道路		直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		○	
右道路		直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	8.2	-2.7	-2.5	3,986	432				
		右道路	8.2	-2.7	-2.5						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			要望なし				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	歩道のカラー舗装、路面標示(対策実施)			完了 年度	H21			
今後の対策方針 対策推進上の課題	変則的な歩道であったことから平成21年度にカラー舗装を実施したところ、対策後踏切内での事故は発生しておらず、地元からの要望も出ていない。今後、踏切利用者の実態を踏まえ、歩道拡幅の必要性について検討していく。										
備考 (協議状況等)	H21.10 歩道部のカラー舗装 実施 H27.10 万葉線株式会社と射水市と協議(早急に対策はできないが、今後も協議を進めていく。)										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	えがみふみきり					道路名	町道郷柿沢・中江上線				
踏切道名	江上踏切					(道路管理者名)	上市町				
						鉄道路線名	本線				
所在地	富山県中新川郡上市町中江上92					(鉄道事業者名)	富山地方鉄道				
地図 (広域及び狭域)						写真 (現況及び対策後)	(対策前) (対策後)車両と歩行者への注意看板を設置 				
	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)		車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -	
諸元・構造等	踏切長(m)		4.3	左道路	2.5	7.5	2.2	歩車道分離方法	なし		
	横断本数(本)		1	踏切道	2.5	7.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		○
				右道路	2.5	7.5	2.2		歩道+車道2車までの拡幅の場合		-
	交差角(度)		88	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類		距離(m)
					-	-			両方共なし		-
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路		距離(m)	BF化状況		通学路指定状況			
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切		-		
	自動車*トルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量(台・時)			事故多発踏切		-		
	歩行者*トルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
			左道路	7.5	0.0	-2.2	3,293		101		
			右道路	7.5	0.0	-2.2					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別		件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故		0	0	-			-			
	道路交通事故		0	0	-						
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		-	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策					H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}					
	-			除却 年度	-	その他(対策実施)			完了 年度	H17	
今後の対策方針 対策推進上の課題	当踏切は歩道狭隘踏切であり、町では踏切前後の歩道に注意喚起のための看板を設置した。現在のところ自動車と歩行者の接触事故等は発生していない。今後の対策として道路管理者による歩道拡幅を検討中であり、鉄道事業者とも協議をしていく予定であるが、財源確保等の課題があり、具体的な計画を策定するまでには至っていない。										
備考 (協議状況等)	平成27年度に道路管理者と鉄道事業者の担当者間で協議を行ったが、踏切の拡幅には莫大な事業費が必要となることから具体的な計画を協議するまでには至らなかった。道路管理者と鉄道事業者の両方で事業費を低く抑える工法等を検討中であり、平成28年度以降も協議を継続していく予定である。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	みやなりふみきり				道路名	主要地方道富山立山公園線					
踏切道名	宮成踏切				(道路管理者名)	富山県					
					鉄道路線名	立山線					
所在地	富山県中新川郡立山町宮成23-3				(鉄道事業者名)	富山地方鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後) 						
										(現況)	
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	5.2	左道路	2.2	5.9	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	7.4	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	1.3	5.9	0.0	迂回路(自動車)		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-	
	交差角(度)	45	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			迂回路指定状況	種類	距離(m)	
				-	-		両方共なし		-		
道路線形	左道路	直線	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	-					
	右道路	直線	-	-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	5.9	2.2	0.0	2,628	371				
		右道路	5.9	1.3	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			-				
	道路交通事故	0	0	-			-				
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切内に歩道がない状態であるが、まずは対策の必要性について確認・検討し、必要に応じて関係者と協議を行っていく。										
備考 (協議状況等)	今後、対策の必要性について確認・検討を行う。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だいにわかみやふみきり				道路名	町道女川新浦田線					
踏切道名	第二若宮踏切				(道路管理者名)	立山町					
所在地	富山県中新川郡立山町浦田328				鉄道路線名	立山線					
地図 (広域及び狭域)					(鉄道事業者名)	富山地方鉄道					
写真 (現況及び対策後)					(現況)						
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	大型車の通行禁止 設置していない			
	踏切長(m)	5.5	左道路	0.0	5.0	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	3.6	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		
	横断本数(本)	1	右道路	0.0	4.0	0.0	歩道+車道2車までの拡幅の場合				
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共なし	-		
道路線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線		-	-	-		-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	5.0	起点寄(左)	0.0		265	19			
		右道路	4.0	起点寄(右)	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			小・中学校からの依頼に基づき、関係者による通学路合同点検を実施。点検結果を立山町通学路安全推進会議にて諮り、要対策箇所と認定された箇所。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		-	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成27年度の通学路点検において要対策箇所に位置づけられたことから、対策内容について、富山地方鉄道と協議中。										
備考 (協議状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.12.7 富山地方鉄道と踏切幅員について協議。通学路点検を踏まえた緊急対策踏切であるが、再度、統廃合へ向けた地元調整の依頼あり。 ・H28.1.23 地元調整の結果、立山町宮成地内の「上割」踏切を廃止する同意が得られる。 										

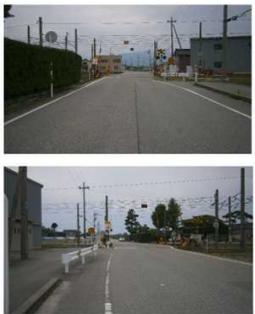
※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	たぞえふみきり						道路名	町道日中田添線			
踏切道名	田添踏切						(道路管理者名)	立山町			
所在地	富山県中新川郡立山町田添262						鉄道路線名	立山線			
							(鉄道事業者名)	富山地方鉄道			
地図 (広域及び狭域)							写真 (現況及び対策後)		(現況)  		
諸元・構造等	踏切種別	第1種		幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし	
								(車両進入防護柵等)		-	
	踏切長(m)	5.5		左道路	0.0	5.5	0.0	歩車道分離方法		なし	
				踏切道	0.0	6.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		○
	横断本数(本)	1		右道路	3.5	5.5	0.0		歩道+車道2車までの拡幅の場合		-
	交差角(度)	90		迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	
			-		-		両方共なし			-	
道路線形	左道路	直線			直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況		通学路指定状況		
	右道路	直線		-		-					-
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-		ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		○	
				-							
	自動車ボトルネック踏切	-		踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-	
				-							
歩行者ボトルネック踏切	-		踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
			-				-				
歩道狭隘踏切	-		前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
			左道路	5.5	起点寄(左)	0.0	2,628		24		
		右道路	5.5	起点寄(右)	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴				地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-				小・中学校からの依頼に基づき、関係者による通学路合同点検を実施。点検結果を立山町通学路安全推進会議にて諮り、要対策箇所と認定された箇所。			
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		-	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	-	除却 年度	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	平成27年度の通学路点検において要対策箇所に位置づけられたことから、対策内容について、富山地方鉄道と協議中。										
備考 (協議状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.12.7 富山地方鉄道と踏切幅員について協議。通学路点検を踏まえた緊急対策踏切であるが、再度、統廃合へ向けた地元調整の依頼あり。 ・H28.1.23 地元調整の結果、立山町宮成地内の「上割」踏切を廃止する同意が得られる。 										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	しんむらふみきり				道路名	町道東狐五十里線					
踏切道名	新村踏切				(道路管理者名)	入善町					
					鉄道路線名	あいの風とやま鉄道線					
所在地	富山県下新川郡入善町下飯野新222-7				(鉄道事業者名)	あいの風とやま鉄道					
地図 (広域及び狭域)	詳細				写真 (現況及び対策後)				(現況)		
	 <p style="text-align: center; font-size: small;">国土地理院 電子国土web</p>										
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	12.0	左道路	3.5	7.5	0.0	歩車道分離方法	白線・黄線			
			踏切道	0.5	6.5	0.5		歩道のみ拡幅の場合	○		
	横断本数(本)	2	右道路	4.0	7.5	0.0	拡幅指針 の該当		歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				終点寄有り	400	
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
				起点寄(左)	終点寄(左)						
左道路			7.5	-3.0	0.5	651					90
右道路	7.5	-3.5	0.5								
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			通学路に指定されていることから、地元からの拡幅要望が強い。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		ループコイル 式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切の前後は歩道設置済みであるが、踏切内の歩道が未整備である。 通学路であることから地元より歩道設置の要望がでており、歩道設置を検討しているが、財源確保等の課題があり、実施時期については未定の状況である。										
備考 (協議状況等)	これまで鉄道事業者との具体的な協議は未実施 平成27年3月に西日本旅客鉄道からあいの風とやま鉄道に移管されたことから、早期にあいの風とやま鉄道へ協議の申入れをする予定。										

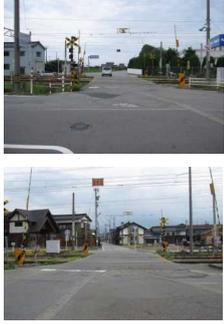
※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	だい4ほくりくかいどうふみきり					道路名	主要地方道入善朝日線				
踏切道名	第4北陸街道踏切					(道路管理者名)	富山県				
						鉄道路線名	あいの風とやま鉄道路線				
所在地	富山県下新川郡入善町入膳5639-3					(鉄道事業者名)	あいの風とやま鉄道				
地図 (広域及び狭域)						写真 (現況及び対策後)	(現況) 				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし			
	踏切長(m)	12.1	左道路	1.6	5.4	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.2	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	5.1	0.0	歩道+車道2車までの 拡幅の場合		-		
	交差角(度)	51	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				両方共なし	-	
道路 線形	左道路	曲線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	曲線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
	左道路	5.4	-1.6	0.0	3,075				92		
	右道路	5.1	0.0	0.0							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			駅に近く通学路指定されていることから、歩行者の通行が多く、入善町から踏切改良の要望あり				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		光式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	構造改良(調整中)			完了 年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	通学路点検において要対策箇所位置づけられていることから、道路管理者で歩道拡幅を検討。										
備考 (協議状況等)	引き続き、踏切道連絡調整会議等を通じて鉄道事業者との協議を進める。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	たなかふみきり				道路名	一般県道吉原入膳線					
踏切道名	田中踏切				(道路管理者名)	富山県					
					鉄道路線名	あいの風とやま鉄道線					
所在地	富山県下新川郡入善町入膳433-2				(鉄道事業者名)	あいの風とやま鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(現況)					
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし -			
	踏切長(m)	14.7	左道路	0.0	6.3	0.0	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.5	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	3	右道路	0.0	4.7	0.0	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-		
	交差角(度)	75	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-				両方共なし	-	
道路線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○				
	右道路	直線		-	-		-	-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	○				
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭隘踏切	-	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.3	起点寄(左)	0.0	3,997	670				
		右道路	4.7	終点寄(左)	0.0						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴		地域・利用者からの要望等					
	踏切事故	0	0	-		駅に近く通学路指定されていることから、歩行者の通行が多く、入善町から踏切改良の要望あり					
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-		-	光式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策 ^{※)}						
	-	除却 年度	-	-	-	完了 年度	-	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	通学路点検において要対策箇所位置づけられていることから、道路管理者で歩道拡幅を検討。										
備考 (協議状況等)	引き続き、踏切道連絡調整会議等を通じて鉄道事業者との協議を進める。										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	おしの				道路名	押野16号八日市二丁目線11号					
踏切道名	押野				(道路管理者名)	金沢市					
所在地	石川県金沢市八日市5丁目262-2				鉄道路線名	北陸本線					
					(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前) (現況)カラー舗装実施(H23)					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし			
							(車両進入防護柵等)	設置していない			
	踏切長(m)	10.7	左道路	0.0	6.5	1.5	歩車道分離方法	カラー舗装			
			踏切道	0.0	7.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	6.5	1.4		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-		
	交差角(度)	60	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
		-		-		両方共なし		-			
道路線形	左道路	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
			-								
	自動車*トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
			-								
歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
		-				-					
歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)					
		左道路	6.5	0.0			-1.5				
		右道路	6.5	0.0	-1.4	6,645	596				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (通学路に指定されているが、歩道が狭小、児童の通学等に危険があるため。)				
	道路交通事故	1	1	H25：車両相互(自動車×二輪車)							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	H25
	無	-	-		ループコイル 式	-	-	-		対策状況 (完了年)	H28
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H23			
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を行う。										
備考 (協議状況等)	H23.3 J R西日本へ計画協議を提出 H23.7 J R西日本より計画協議回答 H27.4 J R西日本へ実施協議書を提出 H27.8 J R西日本より実施協議書回答 H27.8 J R西日本と工事施工に関する協定書を締結 H28.3 工事着手										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いとだみち				道路名	準幹線515号線東力・増泉線					
踏切道名	糸田道				(道路管理者名)	金沢市					
					鉄道路線名	北陸本線					
所在地	石川県金沢市糸田1丁目51				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(現況)					
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	11.8	左道路	0.0	6.5	1.5	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.5	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	6.2	1.5	迂回路(自動車)	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-		
	交差角(度)	41	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			種類	距離(m)		
	道路 線形	左道路		直線	-	-		通学路指定状況	両方共なし		
右道路		直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	○				
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭路踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
	左道路	6.5	起点寄(左)	終点寄(左)	5,695				152		
	右道路	6.2	起点寄(右)	終点寄(右)							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (通学路に指定されているが、歩道が狭小、児童の通学等に危険があるため。)				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		ループコイル 式	○	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を計画している。ただし、道路と鉄道との交差角を改良することが課題となっており、用地買収、建物補償等に膨大な費用を要するため、道路管理者が道路線形等構造改良について検討を行い、鉄道事業者、関係者と協議を行う。										
備考 (協議状況等)	H23.3 道路管理者より鉄道事業者へ踏切拡幅(歩道設置)に係る計画協議を提出 H23.7 鉄道事業者から道路管理者に計画協議回答(交差角改良を検討)										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	おおぬか2ごう				道路名	一般県道額谷三浦線			
踏切道名	大額2号				(道路管理者名)	石川県			
所在地	石川県金沢市大額1丁目418				鉄道路線名	石川線			
					(鉄道事業者名)	北陸鉄道			
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	<p>(対策前)</p>   <p>(現況)カラー舗装実施(H21)</p>  			
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない	
	踏切長(m)	5.4	左道路	3.8	14.6	3.6	歩車道分離方法	カラー舗装 白線・黄線	
	横断本数(本)	1	踏切道	1.5	14.0	1.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○
			右道路	3.7	14.7	3.6		歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)
				-	-			両方共なし	-
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○	
	右道路	直線	-	-	-				
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-	
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-	
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)		
		左道路	14.6	-2.3	-2.1	12,558	775		
		右道路	14.7	-2.2	-2.1				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等		
	踏切事故	0	0	-			付近に小学校、中学校があり通学路に指定されているほか、線路の両側に市道が並行し、踏切前後で交通が輻輳し非常に危険であった。		
	道路交通事故	0	0	-					
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置	法指定 の状況	指定年
	無	-	-	○	-	-	-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※				
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H21	
今後の対策方針 対策推進上の課題	カラー舗装実施により歩行空間が確保できているが、今後、踏切の利用状況や事故の発生状況を注視し、必要に応じて対策を検討する。								
備考 (協議状況等)									

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	とんやせんたー			道路名	1級幹線123号問屋・松寺線						
踏切道名	問屋センター			(道路管理者名)	金沢市						
所在地	石川県金沢市諸江町下丁375-2			鉄道路線名	浅野川線						
				(鉄道事業者名)	北陸鉄道						
地図 (広域及び狭域)				写真 (現況及び対策後)							
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	6.1	左道路	1.5	6.8	1.8	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	1.5	8.0	0.5					
	横断本数(本)	1	右道路	4.5	10.0	4.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合 歩道+車道2車まで の拡幅の場合	- -		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-	-	両方共なし		-		
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-			
	右道路	直線		-	-	-		-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭路踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.8	起点寄(左)	0.0				終点寄(左)	-1.3	
		右道路	10.0	起点寄(右)	-3.0	終点寄(右)	-4.0	14,600	379		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			-				
	道路交通事故	0	0	-			-				
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		光式	○	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※							
	単立	除却 年度	調整中	-			完了 年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	立体交差化事業の着手は都市計画道路大浦千木町線完成後のH28.4となっているが、大浦千木町線完成が当初の予定より遅れているため、事業着手時期について調整が必要である。										
備考 (協議状況等)	H16.2 北陸鉄道(株)と金沢市で立体交差化事業について協定書を締結 H23.3 北陸鉄道(株)と金沢市で、H28.4に工事着手することで合意し、事業着手時期順延の変更協定書を締結 H28.3 北陸鉄道(株)と事業着手時期順延の変更協定書を締結										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	むいかいち				道路名	1級幹線48号新保本・八日市線					
踏切道名	六日市				(道路管理者名)	金沢市					
					鉄道路線名	北陸本線					
所在地	石川県金沢市八日市3丁目1-5				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前)					
						(現況)カラー舗装実施(H23)					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし			
	踏切長(m)	14.0	左道路	1.5	6.5	1.5	(車両進入防護柵等)	設置していない			
			踏切道	0.0	7.2	0.0	歩車道分離方法	カラー舗装			
	横断本数(本)	2	右道路	1.5	6.5	1.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
	交差角(度)	57	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共なし	-		
道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-				
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.5	-1.5	-1.5	6,077	245				
		右道路	6.5	-1.5	-1.5						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (歩道が狭小であり、自動車と歩行者等通行時に危険があるため。)				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	H25
	無	-	-		ループコイル 式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H23			
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を行う。 工事実施時期については、鉄道管理者と調整が必要である。										
備考 (協議状況等)	H23.3 J R西日本へ計画協議を提出 H23.7 J R西日本より計画協議回答										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	ななくぼ				道路名	市道秋浜20号線				
踏切道名	七窪				(道路管理者名)	かほく市				
所在地	石川県かほく市七窪ヲ101-5				鉄道路線名	七尾線				
					(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(現況)  左道路より撮影  右道路より撮影			
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	大型車の通行禁止		
							(車両進入防護柵等)	設置していない		
	踏切長(m)	6.8	左道路	0.5	9.5	0.5	歩車道分離方法	なし		
			踏切道	0.0	4.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	-	
	横断本数(本)	1	右道路	0.5	4.8	0.5		歩道+車道2車までの拡幅の場合	○	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
		-		-		両方共なし		-		
道路線形	左道路	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-		
	右道路	直線	-	-	-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○		
			-							
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-		
			-							
歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
		-								
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)			
			左道路	9.5	-0.5				1,793	745
			右道路	4.8	-0.5					
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-			地元町会より踏切及び道路の拡幅要望が挙がっており、通学路交通安全プログラムの要対策箇所にもなっている。			
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備			法指定の状況	計画種別	-
	設置の必要性	有無	設置年度	障害物検知装置	オーバーハング型警報装置	大型遮断装置	二段型遮断装置		指定年	-
	無	-	-		-	-	-		対策状況(完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※					
	-	除却年度	-	-	-	-	完了年度	-		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切利用者の実態を踏まえ、必要な対策を検討し、関係者と協議を進めていく。									
備考 (協議状況等)	緊急対策踏切の見直しに伴い、当該踏切の対策について今後検討していく必要がある旨、道路管理者・鉄道事業者間で確認済み。									

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	みやのまえ			道路名			市道米永松本線				
踏切道名	宮野前			(道路管理者名)			白山市				
				鉄道路線名			北陸本線				
所在地	石川県白山市宮保新町1			(鉄道事業者名)			西日本旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)				写真 (現況及び対策後)			(対策前)				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	13.1	左道路	2.5	7.5	2.5	歩車道分離方法	カラー舗装			
			踏切道	0.0	7.0	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	2	右道路	3.0	6.5	3.0	迂回路(自動車)		歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-	
	交差角(度)	62	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			種類	距離(m)		
				地下道	115		両方共なし		-		
道路 線形	左道路	曲線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○				
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)			通学路要対策踏切	○				
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)			踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
	歩道狭路踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	7.5	-2.5	2,681		147				
		右道路	6.5	-3.0							
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			周辺には、小学校や大学があることから、通学の通行者が多く、通学路の合同点検においても歩道拡幅の要望あり。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		ループコイル 式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※							
	-	除却 年度	-	カラー舗装			完了 年度	H22			
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切前後道路において、歩道が設置されているが、踏切道内には歩道無く自動車と歩行者との接触の恐れがあるため、H22年度に踏切内を道路管理者でカラー舗装による歩車道分離を実施。更に、地域・利用者から踏切拡幅の要望もあり、道路管理者にて踏切拡幅(歩道設置)の実施に向け、鉄道事業者と引き続き協議をして行く。										
備考 (協議状況等)	H23.3：道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)計画協議書を鉄道事業者に提出 H23.7：鉄道事業者から道路管理者へ踏切拡幅(歩道設置)計画了承の回答										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

踏切安全通行カルテ

よみがな	いしかわ				道路名	市道福留笠間線					
踏切道名	石川				(道路管理者名)	白山市					
所在地	石川県白山市笠間町1756				鉄道路線名	北陸本線					
					(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(現況) 				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	12.8	左道路	2.7	6.5	0.0	歩車道分離方法	なし			
	横断本数(本)	2	踏切道	0.0	5.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
			右道路	2.7	6.5	0.0		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共なし	-		
道路線形	左道路	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
	右道路	直線	-	-	-						
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
			-								
	自動車*トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-			
			-								
歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
		-				-					
歩道狭隘踏切	○	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)		歩行者交通量(人/日)				
		左道路	6.5	-2.7	0.0	1,551	68				
		右道路	6.5	-2.7	0.0						
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			周辺には、中学校や老人福祉施設があることから、中学生や高齢者の通行が多く、通学路の合同点検においても歩道拡幅の要望あり。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備			法指定の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の必要性	有無	設置年度		障害物検知装置	オーバ-ハング型警報装置	大型遮断装置		二段型遮断装置	指定年	H25
	無	-	-		ループコイル式	-	-		-	対策状況(完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却年度	-	路面標示			完了年度	H22			
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切前後道路において、歩道が設置されているが、踏切道内には歩道がなく自動車と歩行者との接触の恐れがあるため、H22年度に踏切前後の道路に道路管理者で路面標示による注意喚起を実施。 更に、地域・利用者から踏切拡幅の要望もあり、道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)の実施に向け、鉄道事業者と引き続き協議をして行く。										
備考 (協議状況等)	H23.3：道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)の計画協議書を鉄道事業者へ提出 H23.7：鉄道事業者から道路管理者へ踏切拡幅(歩道設置)計画了承の回答										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。